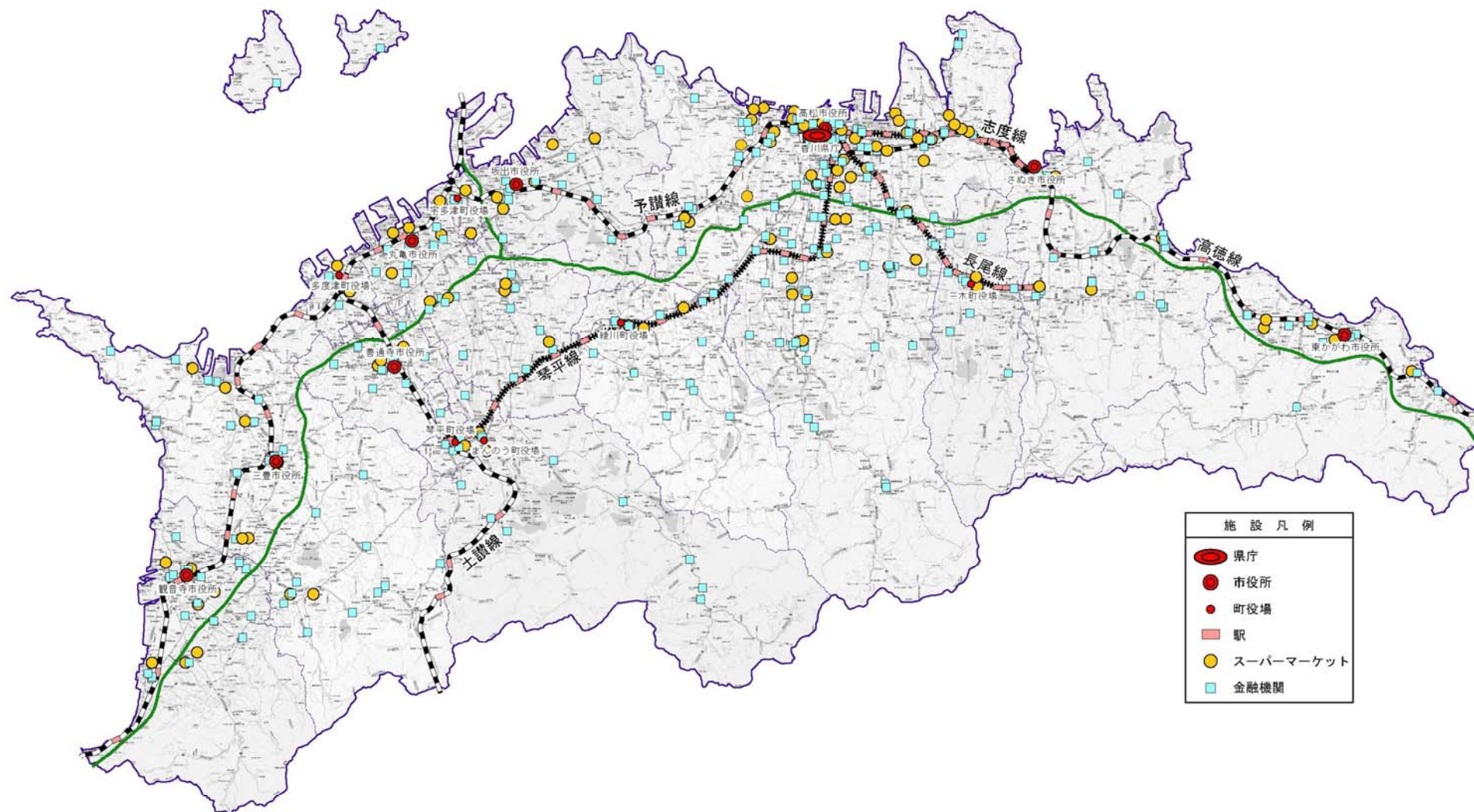


■広報計画(スケジュール)

| | 媒体 | 8月 | 9月 | | | 10月 | | | 11月 | | |
|----------|-------------------|-------|-----|----------|---------|-----------------|----|------|-----|----|----|
| | | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| テレビ | ケーブルテレビ | | | | | 放送 | | | | | |
| ラジオ | RNCラジオ(0:45~0:50) | | | | | 放送 | | | | | |
| インターネット | 独自HP | | 公開 | | | | | | | | |
| | 県HP | | リンク | | | | | | | | |
| | Twitter | | | | | 配信 | | | | | |
| | 県メールマガジン | | | | | 配信(数回配信することは可能) | | | | | |
| プレスリリース | プレスリリース | 委員会開催 | | | | キックオフイベント開催 | | | | | |
| 広報誌等 | 県広報誌(みんなの便利帳) | 広報配布 | | | | | | | | | |
| | 県広報誌(チラシ差込) | | | | 広報配布 | | | | | | |
| | 市町広報誌 | | | | | | | 広報配布 | | | |
| ポスター | 県庁・市町村庁舎ポスター | | | 掲示 | | | | | | | |
| | 市町 庁舎等 | | | 掲示 | | | | | | | |
| | 駅(JR) | | | 掲示 | | | | | | | |
| | 駅(ことでん) | | | 掲示 | | | | | | | |
| | 空港 | | | 掲示 | | | | | | | |
| | 民間企業ポスター | | | 掲示 | | | | | | | |
| 車体広告 | 自治体公用車ステッカー | | | 各自治体にて貼付 | | | | | | | |
| 配布物 | ポケットティッシュ | | | | 随時随所で配布 | | | | | | |
| イベント | 高松駅イベント | | | | | 10/9キックオフイベント | | | | | |
| | カーフリーデー | | | | 9/17開催 | | | | | | |
| 調査票 配布回収 | | | | | | 10/8発送 | | | | | |
| | | | | | | ロットに分割し、随時発送回収 | | | | | |

■チラシ・ポスターの配布場所



| 施設凡例 | |
|---|-----------|
|  | 県庁 |
|  | 市役所 |
|  | 町役場 |
|  | 駅 |
|  | スーパーマーケット |
|  | 金融機関 |

■県広報誌差込チラシ

おしえてください、あなたの一日の動き

調査期間
平成24年
10月～11月

皆さまの1日の動き(活動の場所や交通手段など)を把握し、都市計画、交通対策、防災計画、環境改善など、快適で住みやすいまちづくりに活かしていきます。

高松広域都市圏 パーソントリップ調査

本調査は、対象地域内の世帯から無作為に抽出した約13万世帯の方を対象として実施します。対象となった世帯には、10月から11月に調査票が郵送されますので、回答へのご協力をお願いいたします。

調査主体
高松広域都市圏総合都市交通体系調査委員会
国土交通省 香川県 香川県警察本部 高松市 丸亀市 栗田市 観音寺市 さぬき市 東かがわ市 三豊市 三木町 宇多津町 綾川町 琴平町 多度津町 まんのう町 (同じよ部を除く)

協力していただいた調査結果をもとに
皆さまの声に対応したまちづくりを検討します。

| | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 鉄道からバスへの乗り継ぎを便利にしたい | 車を運転できなくても快適に移動したい |
| 安全で快適に通行できる道路を作りたい | 高齢者などが歩いて暮らせるコンパクトなまちにしたい |
| 地球温暖化など、環境問題に対応したまちにしたい | 駅へ向う道路を渋滞しない道路にして、駐車場もつくりたい |
| 中心市街地がもっとにぎやまにしたい | ずっと住み続けたいと思えるまちにしたい |

調査対象地域と回答方法

調査対象地域
高松市 丸亀市 栗田市 観音寺市 観音寺市
さぬき市 東かがわ市 三豊市 三木町 宇多津町
綾川町 琴平町 多度津町 まんのう町
(同じよ部を除く)

回答方法
回答は、同封の調査票にご記入いただくか、WEBの回答画面からご回答ください。高松PT 調査

お問合せ先
調査実施についてのお問合せ先
高松広域都市圏総合都市交通体系調査委員会(事務局:香川県都市計画課)
〒760-8570 香川県高松市東町四丁目1番10号
TEL:087-832-3557
(午前9時30分～午後5時15分土曜・日曜・祝日を除く)

調査内容(記入方法・調査票の不足など)についてのお問い合わせ先
高松広域都市圏パーソントリップ調査 実施本部
TEL:0120-363-730
(フリーダイヤル)
(平成24年10月1日(月)～11月27日(水) 午前9時～午後6時 日曜・祝日を除く)

快適で住みやすいまちづくりにむけて

調査とは?

また、外出された場合、うな交通手段で」お聞きするものです。

会社 9:00
徒歩(10分)

調査方法は?

調査結果は、「都市計画」「交通計画」「防災計画」「環境対策」など、さまざまな分野で活用され、これからの快適で住みやすいまちづくりのための貴重な情報となります。

交通計画 公共交通(鉄道・バス)の利便性の向上

駅ごとに、どれだけの人が、どのような交通手段を使って集まっているかがわかります。

駅近での自転車・自動車・バスと鉄道との乗り継ぎの利便性の向上を図るため、交通結核品の改善計画などに活用できます。

路線の方向など、どこからどこへ乗換しているかがわかります。

駅前コミュニティバスの計画などに活用できます。

いつ、どこからどこへ鉄道や路線バスが利用されているかがわかります。

鉄道の利便性向上(駅近付着、乗降、スピードアップなど)や路線バス網の充実などの検討に活用できます。

防災計画 災害に強いまちづくりに向けた避難計画

いつ、どこに、どれだけの人が集まっているかがわかります。

災害時を想定した避難場所、避難経路など、円滑な避難のための検討に活用できます。

環境対策 自動車交通による地球環境への影響改善(CO₂排出量の予測など)

どれだけの人が、どのような交通手段を使ってどの程度の距離を移動しているかがわかります。

自動車などの交通による今後のCO₂排出量の予測に活用できます。

都市計画 集約型のまちづくりに向けて

これまでの都市では、市街地が拡散したことや、単社会が薄んだことにより、公共交通利用者の減少、それに伴う7・11レベルの低下、また、中心市街地の衰退などが進んできました。人口減少、超高齢社会の到来などを背景とすると、都市機能の市街地への集約や公共交通の充実、郊外への新たな都市基盤(道路、上下水道など)整備を計画することが必要です。

パーソントリップ調査では、どこからどこへ、どのような目的で人が移動しているかがわかります。

人口減少・超高齢社会の到来に対応した、地域の中核に都市機能を集約させたまちづくりの検討に活用できます。

高松広域都市圏 パーソントリップ調査にご協力ください

■チラシデザイン

おしえてください、あなたの一日の動き

皆さまの1日の動き(活動の場所や交通手段など)をお聞きし、都市計画、交通対策、防災計画、環境改善など、快適で住みやすいまちづくりに活かしていきます。

調査期間
平成24年
10月~11月

高松広域都市圏 パーソントリップ調査

本調査は、対象地域内の世帯から無作為に抽出した約13万世帯の方を対象として実施します。対象となった世帯には、10月から11月に調査票が郵送されますので、回答へのご協力をお願いいたします。

調査主体
高松広域都市圏総合都市交通体系調査委員会
国土交通省 香川県 香川県警察本部 高松市 丸亀市 坂出市 善通寺市 観音寺市 さぬき市 東かがわ市 三豊市 三木町 宇多津町 綾川町 琴平町 多度津町 まんのう町

高松広域都市圏 パーソントリップ調査にご協力ください
～快適で住みやすいまちづくりにおきて～

パーソントリップ調査とは?

ある一日に外出されたかどうか、また、外出された場合、「いつ」「どこに」「どのような交通手段で」移動されたかなどについて、お聞きするものです。

自宅 7:30 会社 9:00

手段 徒歩(5分) → バス(20分) → 鉄道(55分) → 徒歩(10分)

調査結果の活用方法は?

調査結果は、「都市計画」「交通計画」「防災計画」「環境対策」など、さまざまな分野で活用され、これからの快適で住みやすいまちづくりのための貴重な情報となります。

都市計画 集約型のまちづくりに向けて

これまでの都市では、市街地が拡散したことや、車社会が進んだことにより、公共交通利用者の減少、それに伴うサービスレベルの低下、また、中心市街地の衰退などが進んできました。人口減少、超高齢社会の到来などを見据えると、都市機能の市街地への集約や公共交通の充実、郊外への新たな都市基盤(道路、上下水道など)整備を抑制することが必要です。パーソントリップ調査では、どこからどこへ、どのような目的で人が移動しているかがわかります。

人口減少・超高齢社会の到来に対応した、地域の中心部に都市機能を集約させたまちづくりの検討に活用できます。

交通計画 公共交通(鉄道・バス)の利便性の向上

駅ごとに、どれだけの人が、どのような交通手段を使って集まってくるかがわかります。

駅前での自動車・自転車・バスと鉄道の乗り継ぎの利便性の向上を図るため、交通結節点の改善計画などに活用できます。

防災計画 災害に強いまちづくりに向けた避難計画

いつ、どこに、どれだけの人が滞在しているかが分かります。

災害時を想定した避難場所、避難経路など、円滑な避難のための検討に活用できます。

環境対策 自動車交通による地球環境への影響改善(CO₂排出量の予測など)

どれだけの人が、どのような交通手段を使ってどの程度の距離を移動しているかがわかります。

自動車などの交通による今後のCO₂排出量の予測に活用できます。

http://www.pref.kagawa.jp/toshikei/tp/index.html